



無所属
板橋区
議会議員

しいなひろみ 楽しいな通信

ご報告枚数
1,372,120枚
前号までにお届けした
枚数です

親子
3代地元

こんにちは、板橋区議会議員のしいなひろみです。この楽しいな通信ですが、発行部数が130万枚を超えました。毎号議会での一般質問の内容や私の提言から実現した施策等をご紹介します。今号でも、所属している「区民環境委員会」「一般質問」「決算調査特別委員会」での質疑答弁の概要をご報告することで、私が、区民の皆さまがより暮らしやすくなるために、日頃どのような所に目を向け実現に向けて取り組んでいるのかをご理解して頂きたく、新年号として作成しました。お気づきの点やご意見ご要望がございましたらご連絡をお待ちしております。今後とも宜しくお願い申し上げます。

区民環境委員会 質疑答弁概要(令和6年8月28日)

1 下水道未整備箇所について

赤塚四丁目に十数か所ある下水道未設置エリアを区として今後どうするのか。板橋区として現状の把握と改善の為に引き続き尽力するように求めました。

2 文化事業「習い事はじめ」の経緯や現状について

この事業は6歳の子どもを対象に和太鼓の講習会を実施するもので、20年以上継続されています。講習会は3回実施され、保護者の同伴が必要ですが、参加者が少ないため、和太鼓以外の日本文化(日本舞踊や茶道など)も含めてはどうかと提案しました。区民アンケートの実施状況についても確認し、参加者の意見を取り入れるよう促しました。

3 埋火葬・改葬許可取扱状況の「不詳」件数について

戸籍住民課長は性別不詳の理由として、死産証明書に胎児の性別が記載されない場合や、無縁仏などで性別が不明な遺骨について説明がありました。また、改葬許可申請は主に親族が行うが、無縁仏などの合同墓地では遺骨の特定が難しい場合があると述べました。今後の墓じまい増加を踏まえ、不詳の扱いについて確認しました。

4 地区まつりの模擬店の分類基準や安全対策について

地域振興課長は模擬店の表現に大差はなく、現在は町会やPTAが主体でテキ屋の参加は断っていると説明。また、飲食を伴う模擬店は保健所へ相談し、食中毒や怪我の対策として保険加入を勧めていると述べました。来場者が楽しめるよう衛生管理のサポートを強化する意義を確認し、地域振興課長は今後も安全を重視すると回答されました。

5 地域センターの各種行事についての周知方法

地域センターは従来からホームページ、X(旧ツイッター)、紙のチラシを活用して情報を発信していますが、加えて小学校のPTAと連携し、LINEで情報を周知しています。このLINEでの周知が非常に効果的であり、多くの参加者を集める助けとなっています。

6 区民文化費委託金の決算額が予算よりも増加した理由について

戸籍住民課長は、委託金が中長期在留者や特別永住者の居住地届出にかかる経費であり、法務局の推計処理件数に基づく交付額が実際の処理件数とずれたためと説明。予想以上の人数が実際に届出を行ったと確認しました。

7 動物死体処理経費について板橋東と西で経費に差がある理由

板橋東清掃事務所長は、広さや地域性、大きな道路の有無が影響していると説明。経費の内訳は、ペットの火葬や道路で亡くなったハトやハクビシンなどの回収と処理が含まれる。20キロ以上の犬などの大きな動物も処理対象であると説明され、安全管理の重要性を指摘しました。

8 板橋ふれあい農園の農産物販売について

赤塚支所長は、現在区役所本庁舎でのマルシェやイベントでの販売が行われており、販売は好評だが新たな手法の検討は今のところないと説明。また、区内の農地は限られた面積のため、生産量の増加は難しいが、区民に板橋区の農業を知ってもらうための方法は模索したいと述べました。

9 喫煙マナー推進員と指導員の役割について

喫煙マナー指導員が区内の駅周辺で行う歩行喫煙やポイ捨てへの指導内容と巡回報告について質問。禁煙マナー推進員が減少している理由について尋ね、追加の募集や強化が必要ではないかと提案。東武練馬駅周辺での喫煙問題への対策強化も求め、地域の喫煙マナー改善に注力するよう要請しました。

10 区内人材確保支援事業について人手不足の業種と具体的な取組み

産業振興課長は、特に土木建設や介護業界で人手不足が深刻であり、支援策として合同企業説明会や人材コンサルティングを実施していると説明。合同説明会には45社中1社が介護事業者でした。産業振興課長は、公社による営業支援や経営相談も行い、介護事業者の人材確保支援を強化していると述べました。

11 不燃ごみの100%資源化の手順や課題について

資源循環推進課長は、収集した不燃ごみを処理施設で機械や手作業により選別し、種類ごとに専門業者へ運んで資源化する手順を説明。課題として、不燃ごみ以外が混入しているケースがあるため、家庭での適切なごみ分別が重要と述べましたので、継続的な取組みを求めました。

12 板橋区が実施する初心者向け「やさしい日帰り登山」について

スポーツ振興課長は、参加者が安心して登山できるようガイドが同行すること、民間では採算が合わない企画でも区が提供する意義があると説明。また、ガイドは「友の会」の登山経験者が担当し、主に1,000メートル未満の低山を対象に安全に配慮して実施されていると回答しました。

13 地域センターでの車椅子貸出事業について

地域振興課長は、18の地域センターで車椅子を保有し、一定の利用期限内で貸出を行っていると説明し、毎年同じ利用者による長期使用や修繕の必要が課題となっていると回答。私は、地域包括支援センターでも無料で貸出が行われており、メンテナンスは各地域センターの責任で行われていることを指摘しました。